

対露戦争への事実上の青信号となる米下院決議

〔記者注〕 411 対 10 票の大差は不自然で、眉をひそめさせる。おそらく、そのかなりの部分が自由意志によるものではないだろう。Paul Craig Roberts が言うように「やがて彼らは正気に戻るだろう」などと期待するのは間違いだとすれば、ウクライナに残るロシア系市民ジェノサイドを始め、かなりの暴力が現実的になってきたと見なければならぬ。我が国も「集団的自衛権」を通じて、何らかの関わりをもつようになるのは必至である。ただ、デイヴィド・ウィルコックを信ずるとすれば、核兵器は無力化されていて使えないはずであり、「地球の敵」＝狂人集団側の世界制覇の目論見は、いかに順調に見えても失敗するであろう——これは一つの賭けであり、我々の選択でもある。

By RT

Global Research, December 4, 2014

米下院は、モスクワの、その諸隣国への行動を、侵略政策と呼んで強く非難する文書を、圧倒的多数で承認した。

411 対 10 票の大差で通過したこの決議書は、ロシアの、ウクライナ、グルジア、モルドバに対する「継続的な政治的、経済的かつ軍事的侵略」と、「彼らの主権、独立、領土的真正さの（ロシアによる）継続的な侵犯」を激しく叩いている。

<https://www.congress.gov/bill/113th-congress/house-resolution/758>

「アメリカ、ヨーロッパ、それに我々の同盟国は、攻撃的にプーチン氏に圧力をかけ続け、彼の振舞いを改めさせるようにしなければならない」と、この決議書の主唱者 Adam Kinzinger 議員は言った。

この決議書は、ロシアに対し、東部ウクライナの地方民兵団を支援することを中止し、クリミアのロシア編入の決定を取り消すことを求めている。加えてそれは、モスクワは、ウクライナ、グルジア、モルドバにいるとアメリカが主張している自国軍を、撤退させよと呼びかけている。

下院は、バラク・オバマ大統領に対し、ウクライナに防衛設備や訓練を与えるように要請している。

「ウクライナは明らかに緊急の軍事支援を必要としている」と、Ileana Ros-Lehtinen 議員は言ったと、The Hill が伝えている。

これより前、オバマは、ウクライナ大統領ペトロ・ポロシェンコの致命的兵器の援助要請を断っている。<http://rt.com/news/188808-poroshenko-usa-nato-lethal/>

9月のワシントン訪問の折に、ポロシェンコは米議会で演説し、「もっと多くの致命的・非致命的な軍事装備」をキエフに供給することを要請して、聴衆から拍手喝采を受けている。



2014年9月18日、ワシントンDCの議事堂で、米議会の合同セッションで演説するポロシェンコ大統領

木曜日の決議書もまた、NATO加盟国とアメリカの同盟国が、ロシアとの軍事協力を中止するよう強く促している。下院はオバマに呼びかけて、アメリカとNATOの軍隊が、欧州条約の通常軍の下で用意ができているのを観閲するように求めた。

議員たちは、大統領と国務省は、ロシア語を話す国々へロシア語で「ニュースと情報を配布する」方法を講ずべきだと具申した。

議員たちは、この決議書はプーチンと彼の政策をターゲットとするもので、すべてのロシア国民に向けたものではないとしている。

決議書は、プーチンが木曜日に連邦会議で行った演説で、他の国家がロシアに対して取る「封じ込め政策」を批判した箇所を引いている。

「この封じ込め政策は、昨日や今日、発明されたものではない、それは数世紀とは言わないが数十年にわたって、常にわが国に対して行われてきたものだ。誰かが、ロシアが強大になりすぎ、独立するようになったと考えるたびに、直ちに、そのような手段にスイッチが入った」とプーチンは述べている。

彼は、アメリカはこれまでずっと、ロシアの隣国諸国との外交関係を操作してきたと言い、「時には、いったい誰に向かって話したらいいのか、ある国家の政府なのか、その国のアメリカのパトロンに直接話せばよいのか、わからなくなることもさもある」と付け加えた。

関連記事：<http://rt.com/op-edge/211439-congress-obama-statement-resolution-russia/>

米露2国の関係は、過去10年ほどの間により冷却しており、これはH. Res. 758議決の採択によってますます悪化するだろう、と前共和党議員Dennis Kucinichは警告する。

「NATOによる包囲、アメリカの支援によるウクライナのクーデタ、EUとの合意を利用してNATOをウクライナのロシア国境に配備しようとする計画、アメリカの核先制攻撃案——これらはすべて外交を捨てて力に訴えようとする政策だ」と彼は、Truthdigに対し語っている。

関連記事：<http://rt.com/op-edge/211035-nato-russia-crisis-east-europe/>

Kucinichの説明によると、ロシアはただ、モスクワがクリミアのロシア連邦への編入に合意したとき、ウクライナの地方住民が暴力からの保護を訴えたのに対して、反応したにすぎない。それは「歴史的な関係の再確認」だった、とKucinich（クチニック？）は説明する。

「西側の新聞は、クリミアの事情の説明をその編入から始めるが、西側による挑発や、他の要因を完全に無視している。・・・この現実の歪曲が、“ロシアの侵略”についてのヒステリーを人工的に創りだしている」と彼は言い、「米議会は現実でなく、歪曲されたものに対して反応しているのだ」と付け加えた。

クチニックはまた、アメリカのレトリックを「サーベルのガチャつかせ」と呼んで批判し、「これが“冷戦”の始まりとエスカレーションをもたらした」もので、ワシントンは、「国際的秩序を求めて、これ以上軍事支出を増やすことをやめ、外交を用いなければならない」と強調した。